

あにまる通信ぱんだ組 ☆こうやって持つんやよ☆



うわて
上手持ち

7月の保育参観の時にもお伝えしましたが、子どもたちにはスプーンを下手持ちにするように声を掛けています。

保育者がスプーンの持ち方について声掛けすると、隣に座っている友だちに「違よよ、こうやって持つんやよ」と手本を見せたり、「えー先生、どうやって持つんけ？」と友だちと一緒に持ち方の確認したりしている姿も見られます。

下手持ちは慣れない持ち方で、思うようにスプーンの先に食べ物に乗らないこともあります。そのようなときはお皿などに手を添えることや食材をスプーンですくう事などを声掛けしています。なんとかスプーンに乗った食べ物を口へ運び嬉しそうに食べる子どもたちです。

まだまだ机の上に食べこぼすこともあり、子どもたちが大好きな唐揚げがぼろりん…とこぼれてしまうと、とても悲しそうな顔で「先生、落ちた」と教えてくれます。そんな時はお代わり分が残っているおかずを渡すときらきらした目で嬉しそうに眺めています。次は落とさないように…と口の下に手を添えたり、お皿を持ち上げたりして工夫しています。



したて
下手持ち



見てみて！
スプーンこうやって
持つんやよ！



みんなで食べるご飯は
おいしいね！
たくさんたべそー！



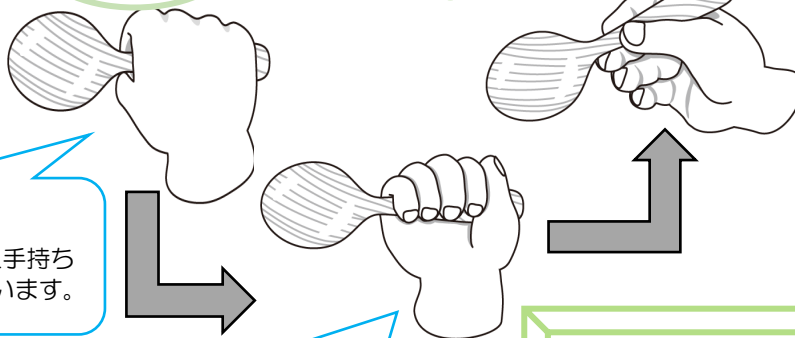
ほー
出来たよ！



これでいいかな…

鉛筆持ちになるためには、下手持ちはとても大切な過程です。鉛筆持ちが上手に出来るようになることで箸への移行もスムーズになり、鉛筆などを持つ練習にも繋がってきます。

鉛筆持ち
親指・人差し指・中指の3点で支えて持つ持ち方です。個人差はありますが、2歳の後半、3歳あたりから出来るようになる子もいます。



うわてもち
上手持ち
まだ多くの子どもたちは上手持ちでスプーンを持ち、食事しています。

したてもち
下手持ち
上手持ちと下手持ちの動作をぜひ一度してみてください。手首をひねることができないと上手持ちから下手持ちへ移行することが難しいです。下手持ちが出来るようになり、その次に鉛筆持ちへと移行が出来ます。下手持ちで食事をするのもとても大事な時期です。子どもたちは、手首をひねるという動作がまだ分からないようで「手くるっとするよ」「こっち側やね」と声を掛けながら持ち方を知らせています。

まだまだ持ち方が定まらない時もありますが、見守りながら持ち方を知らせています。
つかむ・握る・離す（お菓子の袋を開ける・紙などをやぶる・ゼリーなどのふたをあける・ボタンをかける）など、手や指先を使った細かい動きがスムーズに出来るようになるとスプーンの持ち方の練習にもつながっていきます。
ぜひ、ご家庭でも指先を使った動作やスプーンを下手持ちで持つなど意識しながら楽しい朝食・夕食時間を過ごしてみてください。

